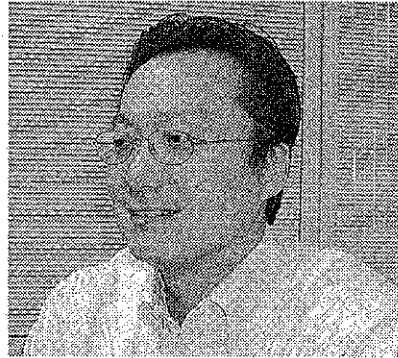


【東京＝山田拓司】運送会社では、管理側とドライバーのコミュニケーションがうまくいかず、労使トラブルの多発を招いている。ぜひ、「バースデイサイエンス」を使って、ギスギスした人間関係を解きほぐしてほしい。竹内社労士事務所（竹内陸代表、東京都豊島区）の鈴木克彦コンサルタントはこう語る。

軽油価格の高騰、環境・安全規制の強化、荷主企業によるコストダウン要請、ドライバーやパートの不足を受け、運送業界は厳しい状況にある。これらの危機を打開するには全員経営が欠かせない。ところが、トラック

## 竹内社労士事務所/バースデイサイエンス



「管理側も小まめに社員に接してほしい」と鈴木コンサルタント

「管理側も小まめに社員に接してほしい」と鈴木コンサルタント。規制で罰則が大幅に引き上げられ、管理体制を徹底する動きもあるが、「こ底する動きもあるが、こ管理しやすか告げは、どこも電子メールほど脆弱（せいじやく）な組織で管理を強め、フラットでの会話が格段に減れば逆効果。それこそ、型の大半は成た。報告があったにせベテランより、入社、果主義を採よ、連絡、相談まで進ま二年のドライバーと関係用、「プレー」ない。「中には、話すのを強化「すべき」と指インクマネシ長くなるので、メールを摘する。ヤとして、見てください」という 問題を起す社員は、

# 人間関係を解きほぐす

経営は収入減と経費増に 部下の管理と、自分自身 ケースも。組織の土台を 転換慣れしており、鋭い直面。組織そのものに悪 の業績アップを図らなけ のものが崩れつつある」 点を突く。だが、管理側 影響を及ぼしつつある。 ればならない。これは、 その上、「ドライバーは何も想定してないた 組織面からみると、管 マネジメントできない」の勤務時間は夜間」となめ、何かあったら、たい 理体制のフラット化が奉 社内業務のシステム化と、ますます管理側、てい負ける。「飲みニユ げられる。ピラミッド型も、デメリットの側面を とくに社長と顔を会わす ケーション」を図りたい であれば、マネジャーは強めている。上司への報 ことが少なくなる。安全 ところが、運送業務で

## 究極のコミュニケーションツール

は飲むに飲めず、マネシは、四月二十一日に商標メントの要諦（ようてい）登録。生年月日から、統一）を押さえられない。 計学と心理学の手法を駆 また、管理体制が充実 使して、人の先天的な本 していると思っでいて 質を瞬時に診断するもの も、マスを対象にしたので、単なる占いの域を超 では、その効果も限られ えている。究極のコミュニ する。トラブルになる社員 ニケーションツール「ザ は少数。ドライバー全員 ・ルーツ」として、携帯 ではなく、個人と契約を結 電話で利用可能。料金は ぶ必要がある。 月額二百円（税込み）。

「トラブルがあった 「バースデイサイエンス」は、管理側の交渉内容は スをはじめ、労使トラブルピンボケしている。相手 ルには事前にストーリーの立場で、かつ、相手の を固めるなどして、ピン頭で考えることが大切な トを合わせる。今までののに、自分の頭で理解し 案件で裁判までいったケ ようとする。これでは、 ースはない。ただ、管理側 じれにじれ、全社員 も小まめに社員に接し、 のモチベーションまで低 少々のトラブルでもリカ 下しかねない」

バースデイサイエンスを心掛けてほしい」